

外部評価実施者からの意見(コメント)一覧

事業又は施策名【担当課】

31消防団運営事業【安心安全課】

全体に対する意見・提案等

消防車が10分以上経たないと来れないという程であれば年齢制限(上限のみ)をつけた上で強制加入にしても問題ないと思う。そうでないなら比較的校庭が広い小中高で初期消火訓練をしても良いのではないか。

団員も減少の中、また、本業を持っている中、大変な状況で活動されていると思う。
ただ、活動状況が、地域の一般住民には今一つよく見えていない、消防団の顔が見えていない、という実情もあると思う。
このため、もっと消防団の存在を色々とPRするなどして、その存在と意義を見える化する必要があると思う。

消防団運営は、少子高齢化の状況下ならびに、共働きの増加などで非常に難しいことと理解しています。時代に応じた消防団の在り方から考えていただき、時代に応じた地域防災(消防)体制の整備をお願いします。

課題に対する意見・提案等

消防団の活動PRをSNSやYoutube、公式ホームページに動画として投稿してみてもどうだろう。老若男女問わずSNSやYoutubeは人目につきやすいし、アピールするには十分な場所だと思う。

少子高齢化の状況下、新規入団者は少ないと思うが、キッズ消防団の設立、機能別消防団員の設置などで、今後少しずつ団員増加につながるのではと思う。
地域における初期消火についても、現消火栓を利用した訓練を披露するなどして(一般住民参加は難しいかも)、消防団の存在、また、初期消火に関する意識づけを行うのも良いかと思う。

消防団の担い手としては体力のある世代が対象となってくるが、現代においてはプライベートを大切にしている人が多く、時間が取られてしまう、という感覚があると思う。消防団員育成計画の中に、訓練とは全く関係のないイベント・ワークショップなどを組み入れてはどうでしょうか。

先行事例調査など、消防団機能維持ないし拡充に成功している自治体の調査・インタビューを行い、知見の獲得をお願いします。